

● 広報

おくび



2011

7

NO.681



～ モシモシさせてね ～

親子で温身平の森林散策を楽しんだ「こども愛ランド」
大きな木に小さな手で聴診器をあてて「モシモシ」
木は「ドキドキ」してたかな？



みんなで 節電 に取り組もう

シリーズ 防災・減災に向けて

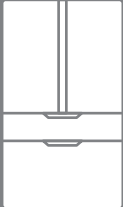
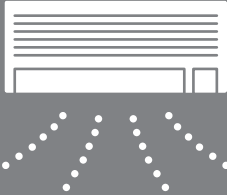
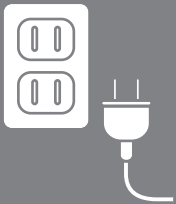
東日本大震災の影響を受け、東京・東北電力管内で発電量が低下していることから、政府は同管内で7月1日から9月9日までの間、企業や工場などの電力の大口需要家に対して、1974年の石油危機以来となる電気使用制限令を発動しました。電力需要が供給を超えそうな場合に計画停電が、超えた場合には大規模停電が発生し、私たちの暮らしのさまざまな場面で大きな影響を及ぼす恐れがあります。このため、各家庭・事業所など、一人ひとりが節電に取り組むことが求められています。今月は、町内の取り組みなどを紹介しながら、節電の大切さを考えます。

節電の必要性

電力は、産業活動や人の生活など、あらゆる場面を支えており、私たちの生活に欠かせないものとなっています。大きな揺れと巨大な津波が襲った3・11の東日本大震災。この影響を受け、東京電力、東北電力管内で稼働できなくなった発電施設があり、特に電力需要が増す夏季において、電力不足が懸念されています。

東北電力の発表では、同管内で現在、11力所の発電所のうち、5力所の火力発電所が復旧工事のため稼働していないことに加え、2力所の原子力発電所も運転を停止。このため、発電量は震災前の約65%で、この夏の最大電力需要は、約1300から1380万キロワットと見込んでいるものの、供給できる電力は最大1210万キロワットであるとしています。

このような状況にあることから、政府は、東京電力・東北電力管内の大口需要家（契

日中は照明を消して、夜間も照明をできるだけ減らしましょう。  照明 5% 60W	冷蔵庫の設定を強から中に変え、扉の開閉や詰めるものを減らしましょう。  冷蔵庫 2% 25W	無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使いましょう。  扇風機 50% 600W	室温 28℃を心がけましょう。  エアコン 10% 130W
省エネモードにして、画面の輝度を下げ、必要な時以外は消しましょう。  テレビ 2% 25W	早朝にタイマーで一日分を炊飯。冷蔵庫で保存しましょう。  炊飯器 2% 25W	家庭で Let's save electricity! 15%節電を達成しよう 資源エネルギー庁による家庭での節電対策メニューを紹介しています。無理のない範囲で取り組みましょう。 節電効果の記載値は、在宅世帯の日中の平均的消費電力（14時：約1200W）に対する削減率と削減消費電力の目安です。 【資源エネルギー庁推計】	
主電源を切る、長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜きましょう。  コンセントプラグ 2% 25W	便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用しましょう。  温水洗浄便座 1%未満 5W		

約電力500キロワット以上に
対して、7月1日から9
月9日までの期間、昨年同
時期の最大電力から15%削
減した値を電力使用の上限
とする電力の使用制限を発
動しました。また、小口需
要家や家庭などに対しても
15%を目標に、国民・産業
界が一丸となって節電に取
り組むことを求めています。

また、山形県においては、
山形方式節電県民運動に取
り組むこととし、5月25日
と31日の2日間、節電社会
実験を行いました。両日と
もに、目標の15%削減に届
かないという結果になりま
したが、この運動を契機に、
ライフスタイルの見直しも
含めて県民への周知に努め、
家庭での節電も積極的に進
めることとしています。

東北電力管内では、大口
需要家が3割、小口需要家
が3割、家庭などが4割の
電気を使っていると言われて
います。改めて、家庭でも
事業所でも、一人ひとりが
節電に対する理解を深めて
いくことが求められています。

みんなのためという 気持ちが大切



渡部八江さん（叶水）

日ごろから省エネの推進や、ごみ減量に向けた取り組みを行っている小国町くらしを考える会会長の渡部八江さん（叶水）に、家庭でどのように節電に取り組んでいるか、お話を伺いました。「皆さんも行っていると思います。皆さんも、パソコンやテレビなどの電源は、節電できる延長コードを使ったり、こまめにコンセントから抜くようにしています。それに炊飯ジャーでご飯を炊いたら保温せず、食べる時だけ温めるようにしています。こうした節電に対する意識は、震災以後、とても強くなりましたし、他のかたも同じように感じていると思

います。

我が家の、昨年6月と今年6月の使用量を確認すると、大幅に使用量を減らすことができていました。毎月の使用量を確認して、節電の効果を認識することも大切だと思います。

また、西日のあたる窓際には毎年、アサガオを植えています。強い日差しを和らげてくれます。

『みんなのため』という気持ちをもって、節電に取り組むことが大切だと思います。」

町内の大口需要家では

電力は私たちの暮らしのなかだけでなく、それぞれの事業所での生産活動にも欠かせないものになっています。

町内の中核企業のひとつであり電力の大口需要家でもある、コバレントマテリアル株式会社小国事業所の小林茂樹業務グループ長に節電に対する取り組みの現状について、お話を伺いました。

「小国事業所では、関連企



コバレントマテリアル(株)
小国事業所
業務グループ長 小林茂樹氏

業も含め約1000人が従事し、主に半導体関連製品を生産しています。この製品を製造するために大きな電力を必要とすることから、電力会社から購入する電力と赤芝発電所で発電する電力を使用して生産活動を行っています。節電も含め省エネ対策には従来から取り組んできていますが、今回はそれをさらに徹底していく必要があると考えています。

安全面や衛生面に配慮したうえで、エアコンの温度設定や照明の間引き、扇風機の導入などを行うほか、グリーンカーテンとして、窓際にゴーヤを植え付けたプランターを設置する予定です。加えて、8月1日から9月9日までの電力制限期間、日勤者を対象に始業時間を



1時間早めるサマータムの導入および夏季休暇の延長を実施するほか、生産部門の勤務体系の見直しを検討しているところです。

また、水力発電施設により賄っている電力は、夏場は水量が減るため、梅雨時期と比べると発電量が少なくなる傾向にあり、より節電への努力が求められます。

生産を落とさずに電力を制限するためには、節電に関するさまざまな工夫や、従業員や関係機関の理解と協力が必要です。」

7月7日は エアコン対策 一斉運動

山形県では、国のクールアース・デーに合わせて、7月7日の午後1時から3時までの2時間を重点時間帯として、無理のない範囲でエアコンを止めて、扇風機などを使用して涼をとることを推奨するエアコン対策一斉運動を展開します。また、この取り組みは社会実験と同様に、節電の効果を測定し、公表することとしています。

役場庁舎・ 公共施設では

町の節電対策として、震災後から継続して役場庁舎、総合センター、健康管理センター、町立病院等の公共施設で、節電の取り組みを行っています。

これまで実施してきたエアコンの28℃設定や照明の間引きなどの節電対策に加えて、職員が使用するパソコンの省電力設定や長時間使用しない電化製品のコンセントの取り外しなどを徹底していくほか、役場庁舎及びおぐに開発総合センターの照明を、より消費電力の小さい発光ダイオード照明(LED照明)に交換し、さらなる電力使用量の削減に取り組むこととしています。

節電は健康面で 無理のない範囲で

これから夏に向かい気温が上昇すると、高温、多湿の環境でうまく体温調節が

できなくなる熱中症の発症が心配されます。

厚生労働省によると、昨年の熱中症による死者のうち、79・3%は65歳以上の高齢者で、死亡した場所の約半数は、自宅や庭だったとしています。お年寄りはおもともと我慢強くて、エアコンを使わない傾向があるとされます。節電を意識して無理せず、特に高齢者や糖尿病、高血圧症などの持病を抱えている人は、適宜にエアコンを使用し予防に努めることが大切です。

なお、熱中症予防のポイントは次のとおりです。

- ①暑さを避けるため、屋外では、日陰を歩くことや、帽子をかぶること、屋内では扇風機や冷房などを活用し温度調整すること。
- ②服装は、黒色系の素材を避け、吸汗・速乾素材のものを着ること。
- ③こまめに水分や塩分を補給すること。暑いところに出る前から水分を取り、大汗をかいたときは、塩分も摂取すること。

健康面にも気を配り、日々の暮らしのなかで無理のない範囲で節電に取り組むことが大切です。

一人ひとりが 節電意識を高めよう

町内の企業や一般家庭で、さまざまな取り組みが展開され、節電に対する意識が高まってきました。

これから夏休みやお盆の時期になり、子どもたちも大人も、家庭で過ごす時間が多くなると想定されます。夏の日中は、午後2時頃が最も電力需要が大きくなる時間帯とされ、一般家庭の消費電力の約半分をエアコンが占めているといわれています。エアコンを止めて扇風機を使用する、家族団らんの場を増やしたり、また、地域行事へ参加してみたり、小国町の豊かな森林や清らかな河川で涼を求めたりと、今までのライフスタイルの見直しも含めて、節電対策に取り組んでいきましょう。

小国町議会 6月定例会

小国町議会第6回定例会が、6月2日から6日まで開会され、一般会計補正予算などが審議され、原案のとおり可決されました。一般会計では、2800万円が増額され、これにより、同会計の予算総額は54億6560万円となりました。

主な内容は次のとおりです。

- 東日本大震災による被災者受け入れに伴う経費や被災者の心身の癒しの場を提供するとともに、二次避難先の選択を支援するために、山形県と市町村が共同で実施する企画旅行事業への負担金を計上しました。
- 老朽化している旧小玉川保育園、小坂町町有住宅2棟を解体する経費を措置しました。
- 国の健康増進事業実施要領の改正に伴い、40歳以

上70歳までの5歳刻みの年齢に達する人を対象に、肝炎ウイルスの健診が無料を受診できるよう所要額を措置しました。

- 40歳以上60歳までの5歳刻みのかたが大腸がん検診を受ける際、受診率を向上するため、無料クーポン券の作製や南陽健診センターへの検査受託料等を措置しました。

- 林道樽口峠線や朴木峠線において、融雪等により法面崩壊や道路の陥没が発生した箇所の施設維持管理に要する経費を追加しました。

- 小国小学校改築事業について、取得用地内の立ち木伐採や、造成に要する経費などを追加しました。

小国町税条例の 一部を改正する条例の 制定について

国では、東日本大震災の被災者等の負担軽減を図るため、緊急対応として、固定資産税及び都市計画税の課税免除等の措置並びに個

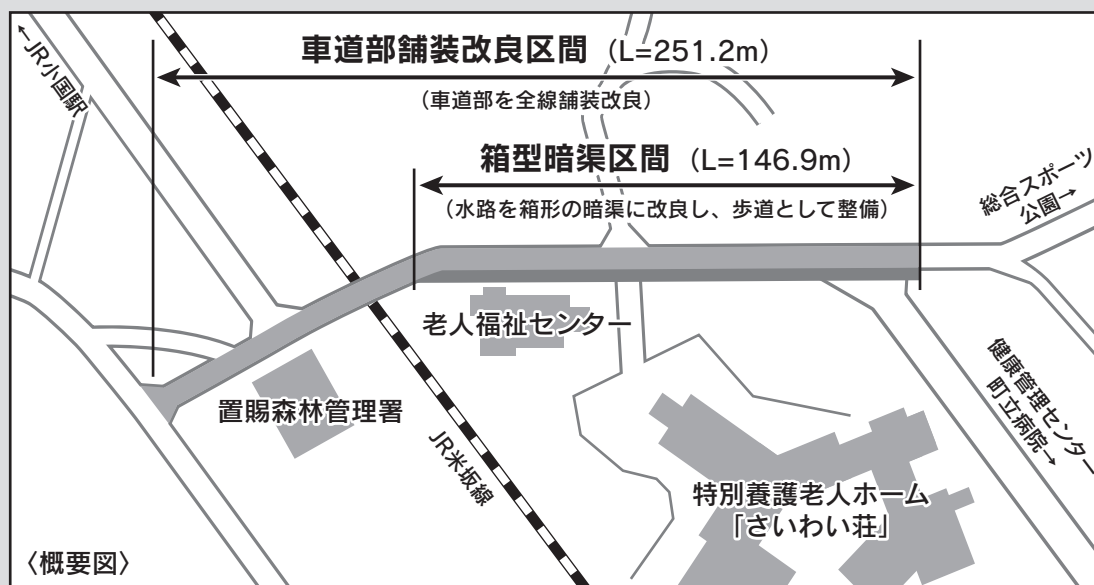
人住民税、不動産取得税、自動車税等にかかる特例措置を講ずることとして地方

税法の一部を改正しました。これに伴い、町税条例も一部改正しました。

町道平林1号線改良舗装工事の実施について

町道平林1号線の改良舗装工事（下記概要図の区間）を実施いたします。工事期間中（6月中旬～12月17日）は、交通規制の実施など、皆さまに大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

■ 問合先 地域整備課建設技術室（62-2432）へ



シリーズ 小国町の国保 最終回

国民健康保険税のあらまし

国民健康保険税（国保税）は国保を運営していくうえで重要な財源です。最終回の今回は、この国保税はどのような考え方に基づいて計算されているのかについて紹介します。

◆国保税の性格

国保税は、国民健康保険事業を行う市町村等が課税主体となり、医療費給付等に充てる「目的税」です。そのため、国保事業で剰余金が生じた場合でも、他の事業等に国保税を充当することはできません。

◆納税義務者

国保税の納税義務者は、国保加入者がいる世帯の世帯主です。これは、給付を受ける人に対する個人課税とすると、子ども等の所得のない人にも課税すること

◆税額の積算方法

国保税は保険料としての性格を持つため、実際に税負担を受け持つことができ、能力に応じて課税する応能方式と、加入者として受ける利益に対して課税する応益方式によることが原則とされています。この中で、応能方式として、世帯の加

入者の所得に応じて計算する所得割と、世帯の加入者の資産に応じて計算する資産割が、応益方式として、世帯の加入者数に応じて計算する均等割と、1世帯ごとに課せられる平等割があります。小国町では、この4つを組み合わせる税額を算出しています。

◆平成23年度に税率・税額を改正しています

これまで2回にわたって、小国町の国保の加入者数の推移や、財政状況などについて解説してきました。国保は加入者が国保税を出し合い、医療を受けるときの負担を少なくする助け合いの制度です。しかし、国保加入者の減少や、医療の高度化に伴う医療費の増加、医療保険制度改正などの要因により、財政面において歳入が減少している状況にあります。国保事業の収支の均衡を図り、安定的に運営していくために、平成23年度から、下表のとおり新

しい税率で国保税の負担をお願いすることにしました。

国民健康保険税の税率・税額の改正内容

		応能方式		応益方式	
		所得割額	資産割額	均等割額	平等割額
基礎課税分 (医療分)	平成22年度	5.5%	24.0%	16,600円	18,500円
	平成23年度	7.2%	27.0%	23,200円	17,600円
	増減	1.7%	3.0%	6,600円	△900円
後期高齢者 支援金等分	平成22年度	1.5%	6.0%	4,300円	4,800円
	平成23年度	1.8%	7.0%	6,000円	4,400円
	増減	0.3%	1.0%	1,700円	△400円
介護納付金分	平成22年度	1.5%	8.0%	7,100円	3,900円
	平成23年度	1.5%	8.0%	7,100円	3,900円
	増減	—	—	—	—

白沼中学校が準特選受賞 平成22年度全日本学校環境緑化コンクール

白沼中学校(富樫雅人校長)が、平成22年度全日本学校環境緑化コンクールにおいて、学校林等活動の部で準特選(国土緑化推進機構会長賞)に選ばれ、5月22日に和歌山県で開かれた第62回全国植樹祭で表彰されました。

同校では、木を守ってきた先人たちの思いにふれて、自然とともに生きる態度を養うことなどを目的に、地域のかたがたや林業に携わるかたがたと連携して、学



校林の下刈りや枝打ちなどの整備活動に取り組んできたことが高く評価されたものです。

生徒会長の後藤慎都君は、「学校は今年で閉校になりますが、学校林整備などを通じて、先輩たちや地域のかたが引き継いできた自然を大切にすることをしっかりと守っていきたいと思います」と話してくれました。

緑のふるさと 協力隊便り

シリーズ
2

豊かな自然 地域文化にビックリ

中島 萌



小国にきて2カ月、私が最近熱中していることは、ドジョウ捕りです。きっかけは活動先で田植えのお手伝い中に偶然、ドジョウを見つけたことからです。「捕まえてみたい!」という思いから、地元の方に教えていただき、どじょうど(しかけ)をしかけてドジョウを捕まえ、柳川、からあげにして美味しく頂きました。今は、土用の丑の日にドジョウの蒲焼を作る為、暇をみつけては大物狙いの日々です。

また、先日は、地元の方に協力して頂き、ゼンマイの綿を使って、ボールを作りました。意外に跳ねることにびっくり!昔の懐かしい四季折々の遊びや生き物捕りに興味津々です。私が育った所は、恵まれた自然環境が少なかったため、こうした体験をすることができませんでした。恵まれた自然環境のある小国町で、地元の方に教えてもらいながらの日々は、とても充実しています。もし、「こんな面白い遊びや生き物捕りがあるよ!」という方は老若男女構わず、ぜひ教えてください!



1. ブナの地域ごとの特性や温身平の動植物のかかわりなどを解説した箕口氏。
2. 実際にブナの直径や樹高の測定も実施。
3. ブナ林に植生する他の樹種について説明する逢澤氏。



国際森林年記念 ブナの森研修会

ブナの森を知り、学ぶ

世界中の森林の持続的な経営と保全、利用などについて認識を高めることを目的に国連が定めた「国際森林年」。これを記念した「ブナの森研修会」が、6月18日と19日の両日、アスモなどを会場に開催されました。小国町は町土の約95%を森林が占め、豊かな森林とそこに暮らす人々が深くかかわり独特の生活文化、生活技術を育んできました。このことから、本町のブナの森について理解を深めてもらおうと、小国町と置賜森林管理署が主催したものです。

18日は、本町をフィールドに研究している新潟大学農学部教授箕口（みぐち）秀夫氏や、東北森林管理局指導普及課長青山一郎氏の講演、宇都宮大学農学部助教逢澤（あいざわ）峰昭氏による研究報告が行われました。このほか、五味沢地区のブナの森で交流事業を展開している雪の学校校長斎藤重美氏の事例発表が行われました。

講演では、箕口氏が、日本におけるブナ林の分布域や地

域ごとの特性、「温身平」のブナ林と動植物のかかわりなどを解説したほか、青山氏は、近年、ブナの葉の害虫として本町でも発生が確認されている「ウエツキブナハムシ」の生態などを紹介しました。また、逢澤氏は、平成5年から継続的に調査してきた在所平のブナの世代交代や、森林環境の変化などを報告したほか、斎藤氏は、雪の学校の取り組みやマタギ文化を紹介しました。

19日は、「おぐに白い郷土の森」、「温身平」のブナ林に出向き、現地研修が行われました。参加者は、箕口氏や逢澤氏とともに周辺の森林環境を観察し、植生している樹木やその特性について解説を受け、それぞれの森の特徴について理解を深めていました。

参加者からは、「白い郷土の森も温身平も、ブナの樹高が高いことや、動物や虫など、いろんな生き物がブナの恩恵を受け、命をつないでいることが分かった。この豊かな森を大切にしたい」との声が聞かれました。

小学校統合の母体 新しい小国小学校を建設

～平成26年度開校を目指して～

いま町では、学校統合の母体となる「新しい小国小学校」の建設計画を進めています。新小国小学校（本文中、以下同様表記）は、平成26年度の開校を目指して、本年度中に設計を取りまとめ、平成24年度から2力年にわたって建設工事を行う予定としています。そこで、これまでの経過と、その進行状況についてお知らせします。

小国小学校を統合母体へ

全国的に少子化が進むなか、本町においても児童生徒数が減少し、学校としての機能維持が困難になってきています。そのため、町教育委員会では、おおむね平成25年度をめどとして、町内の小学校、中学校をそれぞれ1校に統合する方針を掲げ、平成18年4月から町立小中学校の統合を段階的に実施してきました。

こうしたなか、小学校統

合の母体となる小国小学校は、老朽化が進み、全面改築が必要となつていきます。このため、町では、小国小学校の全面改築を進めることとし、その作業に着手しました。

新小国小学校は

小国中学校の隣に

新小国小学校の建設にあつて、まず新しい校舎に期待される施設機能、建設候補地の選定などを柱とした小国小学校改築基本構想を平成21年度に取りまとめ

ました。策定にあたっては、有識者や町内各界関係者、町民からの一般公募委員などによる懇談会において検討していただきました。特に、建設候補地の選定にあつては、敷地の形状や広さ、これまで取り組んできた小中高一貫教育や社会教育の連携など多面的な視点で検討し、最終的に「小国中学校の近接地」を選定しました。

昨年度は基本計画を策定

平成22年度には、小国小学校改築基本構想に基づき本町にふさわしい学校のあり方について具体的な計画を検討するため、引き続き、町民代表による懇談会や有識者によるアドバイザー会議などを設け、学校建設に関する基本計画を策定しました。多面的なこれらの会議において提案、提言をいただきながら、新小国小学校に求められる機能や諸条件を整理した結果、小中高一貫教育や雪への対応、校舎内の明るさなど、配置や構造

に関する基本的な考え方を明らかにしました。

目指している新校舎の姿

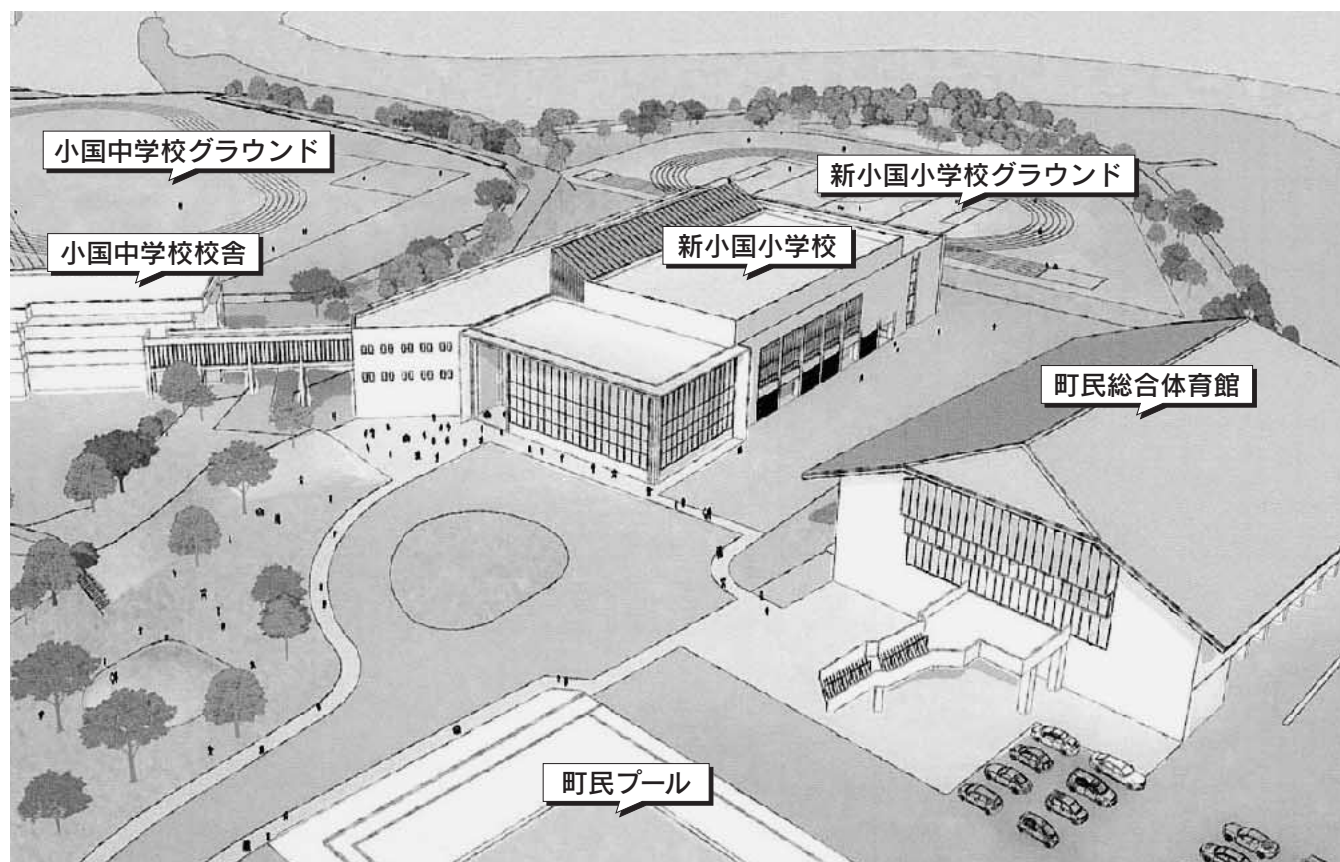
その後、基本計画に基づき、新小国小学校の設計作業を進めてきましたが、約四十日間降り続いた今年の豪雪や、東日本大震災などから、学校に求められる最も重要な条件は、安全・安心な施設であるという認識に立ち、新校舎については、災害に強く、避難所機能をも併せ持つ頑丈な鉄筋コンクリート3階建てとする方針を定めました。こうした考え方に沿った施設の具現化と、うるおいと安らぎのある空間の創出を目指して、現在、建設に向けた準備作業を進めています。

現時点で計画している新小国小学校の建設イメージは次のとおりです。

■新しい小国小学校は、小国中学校と町民総合体育館の間に建設します。

■小中連携及び一貫教育の一層の推進を図るため、

新小国小学校の外観イメージ



■ 新小国小学校校舎の3階と、現在の小国中学校の2階を渡り廊下で連結します。

■ 屋内には、町産木材をふんだんに使い、柔らかく温かみのある空間を創出します。

■ 雪処理の負担軽減のため、平屋根とし、冬期間でも利用可能となる屋内駐車場を設置します。

■ バス通学が増える想定されるため、昇降口付近に待合ホールを設置します。

■ 給食は、自校調理方式とし、新たに中学校にも給食を配食します。

■ 小中連携などに幅広く利用できる多目的ホールや交流空間を設置するほか、放課後子ども教室や学童保育など多様な学習機会に対応できる環境整備を図ります。

■ 体育館や家庭科室、音楽室などは、町民が社会体育や食育活動などに利用できるよう配置します。

■ 新エネルギーを活用した熱源の導入や省エネルギー

ー対策を検討します。

■ 防災対策に十分配慮し、水害を想定して県が作成したハザードマップなどを参考に、十分安全が確保できるよう地盤を上げ、さらに二重に土手を築くなど、安全対策に万全を講じます。

また、現在のふれあいの家は解体が必要となるため、新小国小学校建設に併せて新たな屋内運動施設建設についても、検討作業を進めているところです。

7月20日町民説明会を開催します

これまでの検討経過や目指している新校舎の姿について、より多くのかたがたに説明し、理解を深めていただくため、次のとおり町民説明会を開催いたします。

■ 日時 7月20日(水)19時～

■ 場所 総合センター

■ 内容 学校建設について

■ 問合先 教育委員会事務局

(62-2141)へ

小国町ではインターンシップ を募集します

町では、森林セラピーや集落行事などの地域体験や、テーマごとの役場の業務体験をとおして、地域の人達とふれあい、小国の魅力を体験しながら、地域づくりのやりがいや楽しさを感じてもらうため、インターンシップを募集します。

■日 程 平成23年8月8日(月)～12日(金)

■対 象

大学生及び大学院生

●5日間の全プログラムに参加可能なかた

●地方行政に関心を持ち、地域体験や業務体験を希望するかた

●地域づくり等に興味があり、積極的に取り組む意欲のあるかた

■募集人数 10人程度

■内 容 (予定)

●小国町の地域体験(森林セラピー体験、郷土料理作りなど)

●町役場の業務体験、緑のふるさと協力隊との地域活動、町内企業訪問など

■費 用 宿泊費、飲食費等は自己負担となります。

宿泊先等についてはお問合せください。

■応募方法

小国町ホームページの専用応募フォームに入力いただくか、専用エントリーシートをダウンロードし、必要事項を記入して送付ください。

※対象ページアドレス

http://www.town.oguni.yamagata.jp/info/event/06_internship.html

06_internship.html

■応募締切 7月10日(日)

※7月15日までに受け入れ可否について連絡します。

■問合せ先 総務企画課行政管理室へ

アナログ放送は7月24日で終了します!

～地デジ臨時相談コーナーをご利用ください～

本年、7月24日(日)、テレビのアナログ放送が終了するため、放送をご覧になるには、地上デジタル放送対応のテレビを準備するか、地上デジタルチューナーを接続する必要があります。

町では、8月26日(金)までの期間、役場2階ラウンジにおいて、無料の相談用携帯電話を設置していますので、「準備するにはどうしたらよいか?」など、不明な点がございましたら、気軽に利用してください。(土日祝日除く、午前8時30分から午後5時15分まで)なお、相談用携帯電話の使い方がわからない場合は、職員が対応しますので、窓口にお声がけください。

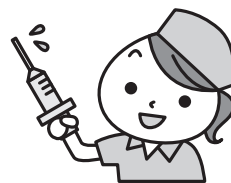
また、自宅の電話からは、デジサポ山形受信相談ダイヤル(023-606-1100又は023-645-7262)へお問い合わせください。



65歳以上のかたへ

肺炎球菌ワクチン接種

費用の一部を助成します



予防接種

肺炎球菌ワクチンについて

肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による肺炎などの感染症を予防し重症化を防ぎます。

高齢者や病気などで免疫力の低下しているかたに対してワクチンの接種が勧められています。主治医と十分に相談することが必要です。

助成対象者

小国町に住所を有する65歳以上のかたで、次の条件を満たすかた。

- ①接種日に満65歳以上のかた
- ②肺炎球菌ワクチン接種に對して健康保険の適用がないかた
- ③過去に高齢者への肺炎球菌ワクチン接種を受けたことがないかた

助成額

一人1回3,000円で1回限りの助成となります。接種料金はそれぞれの医療機関で定められていますので、接種料金から助成額を差し引いた差額は自己負担となります。

実施期間

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
ただし、助成対象者のかたで、平成23年4月1日から6月30日の間に、既にワクチン接種されたかたは、後日、助成金を交付することとなりますので、健康福祉課までご連絡ください。

接種できる医療機関

小国町内の受託医療機関

で主治医と相談の上、予約が必要です。

- ①今医院
- ②田中クリニック
- ③小国町立病院

助成を受けるためには

申請が必要です！

この事業の助成を受けようとするかたは申請が必要です。次の手続きを行ってください。

- ①健康管理センター窓口で申請を受け付けます。(午前8時30分から午後5時15分まで)その際に印鑑を持参してください。
- ②申請をしてから「助成券」と「予診票」が届くまで3〜4日程度かかりますので、接種予定日まで余裕をもって申請してください。
- ③ワクチン接種をする際は、事前に「予診票」に記載をし、医療機関に「助成券」を提示してください。

問合せ先

健康福祉課
(61-1000)へ

古田歌舞伎保存会 役者を募集しています

古田歌舞伎は、古田地区に伝わる農芸芸能で、小国町を代表する伝統芸能のひとつです。このたび、古田歌舞伎保存会では、歌舞伎に関心があり、役者をやってみたいかたを次のとおり募集します。

■対象 町内に在住の18歳以上のかた(男女問わず)

■活動期間 7月から11月初旬まで

■問合せ先 古田歌舞伎保存会
会長斎藤昇平(62-4486)
又は小国町教育委員会事務局へ



地域の自然・文化への思いを一冊に

～藤田栄一さん「マタギの行方」を発刊～

半世紀にわたり、マタギとして、また山形県自然公園管理員や飯豊朝日山岳遭難救助隊として、自然と深くかかわり活躍されてきた藤田栄一さん（長者原）が、マタギの姿や思いを後世に伝えたいと、写文集「マタギの行方～マタギは何をする人ぞ～」を発刊しました。

藤田さんは、「小玉川マタギは300年以上の伝統があり、クマの適切な駆除により繁殖をコントロールしてきたと思います。狩りを行うことは、自然と共生した暮らしを維持するための大切な手段でした。過疎化が進むとともにマタギの数も減り、近年は動物が人里へ姿を現す機会が増えるなど、自然界のバランスの崩れを感じます。マタギとはどのようなものか、狩りへの思いやその姿、考え方を広く伝えていきたいと思い、この写文集を発刊しました。」と話してくれました。



みなさんの善意を 障がいのあるかたに

～ふれあい募金会贈呈式～

小国地区ふれあい募金会（会長・小野精一 小国町長）の贈呈式が6月14日、健康管理センターで開催され、小国町身体障害者福祉会（齋藤文雄会長）に70,000円が贈呈されました。

ふれあい募金会では、東北労働金庫の預金者から利息の一部を寄付してもらい、障がい者施設や福祉事業所などに贈っています。

贈呈を受け、齋藤会長は、「皆さんからの善意は、研修・交流活動等に使わせていただきます。」と話されました。

旧校舎を活用、地域の魅力を発信

～玉川がっこう倶楽部第1回山菜祭り～

玉川がっこう倶楽部（伊藤忠吾会長）第1回山菜祭りが、5月29日、旧玉川小中学校で開催されました。

地域住民で組織するこの倶楽部は、閉校した同校校舎を活用して、地域の魅力の発信や交流機会の拡大を図ることなどを目的に、年間を通じて事業を展開することとしています。

当日は、地元で採れたワラビやウドなどの直売のほか、手作りの山菜汁や山菜パスタなどが提供され、旬の味覚を求める多くのかたがたで賑わっていました。



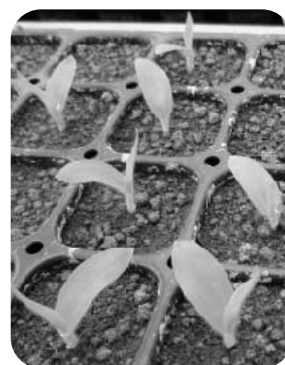
小国の大豆と雑穀が宇宙から帰還

～宇宙大豆授与式～

宇宙大豆授与式が6月6日、アスモで開催され、宇宙で保管されていた小国産の大豆と雑穀の種子が㈱リバネスから小国の子どもたちへ手渡されました。

この小国産の大豆と雑穀の種子は、科学教育に取り組んでいる企業㈱リバネス（東京）が主催する宇宙教育プロジェクトの一環として、平成22年5月14日にスペースシャトル「アトランティス」で宇宙に出発し、約10カ月間国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」で保管され、今年3月9日にアメリカのケネディ宇宙センターに帰還したものです。

今後は、山形県置賜総合支庁産業経済部農業技術普及課産地研究室（南陽市宮内）で栽培の実証実験を行ったうえで、地域づくり活動や食育活動などに活用される予定となっています。



産地研究室で発芽が確認された大豆(左)と雑穀(右・きび)
(6月17日撮影)

笑顔キラリ

Smile.03

舟山弘樹さん

DATA

- ふなやまひろき
- 年齢/23歳
- 住まい/小玉川
- 趣味/ドライブ、釣り

Funayama
Hiroki

高校生の時以来、地元を離れていましたが、一昨年から小玉川岩魚ランドで働いています。イワナの養殖は、恵まれた自然環境を生かした仕事ですが、自然には厳しい一面もあり、大雨が降って養殖場が増水したり水が濁ったりすると、魚を守るために夜通しで対応しなければならないこともあります。

良質なイワナを生産することに加え、周辺の自然環境を生かしたイベントなども企画しながら地域を盛り上げて、もっと多くの観光客に足を運んでもらえるよう頑張っていきたいと思っています。

募集

町営住宅入居者募集

■あけぼの団地

3DK 1戸(3階)

▽家賃 所得と家族構成により決定します。

▽対象 所得制限がありますので、お問合せください。

■岩井沢勤労者住宅

3DK 2戸(3階・1階)

▽家賃 42,000円

▽対象 町内の事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 7月11日(月)

■入居時期 7月下旬以降

■問合せ先

地域整備課建設管理室へ

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 2戸

▽家賃 所得により決定

▽対象 同居親族がいるかた(所得制限あり)

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 7月8日(金)

■入居時期 8月下旬

■申込・問合せ先 県営住宅指定管理者 西王不動産置賜事務所(0238-2412332)へ

自衛官募集案内及び採用説明会

《募集種目と応募資格》

▽「防衛大学校・防衛医科大学校・航空学生」高卒(見込含む) 21歳未満のかた▽「看護学生」高卒(見込含む)、24歳未満のかた▽「一般曹候補生・自衛官候補生」18歳以上27歳未満のかた▽「高等工科学校生徒」中卒(見込含む) 17歳未満のかた

《採用説明会》

■開催日 7月9日(土)

午後1時～午後2時30分

■場所 総合センター

■問合せ先 自衛隊米沢地域事務所(0238-2310011)へ

ご案内

狩猟免許更新の適性試験及び講習会

■日時 7月14日(木)

午前9時～午後2時

■場所 置賜総合支庁

■受験資格 県内に住所を有し、有効期限が平成23年

9月14日の狩猟免許を有するかた

■問合せ先 置賜総合支庁環境課(0238-2616035)へ

猟銃等講習会

■日時 7月28日(木)

午前9時～

■場所 総合センター

■対象 猟銃・空気銃所持者

■申込期限 7月27日(水)

※申込時に顔写真1枚、山形県証紙3,000円、印

かんが必要です。

■申込・問合せ先 小国警察署(62-01110)へ

狩猟免許初心者講習会

■日時 8月2日(火)

午前9時～午後4時30分

■場所 山形ビッグウイング

■受講料 4,000円

■申込・問合せ先 (株)山形県猟友会(023-62440382)へ

第47回

小国町戦没者追悼式

■日時 8月1日(月)

午前10時～

■場所 総合センター

■問合せ先 健康福祉課へ

町民プールオープン

■期間

7月16日(土)～8月28日(日)

■時間

午前9時～11時30分

午後1時～4時30分

■利用料 無料

■問合せ先 総合センターへ

2011命と平和コンサート

■日時 7月30日(土)

午後2時～午後4時30分

■場所 総合センター

■出演 合唱サークル「ラララ」、山形センター合唱

団ほか

■問合せ先 実行委員会石井(65-2355)へ

バリガムランと

舞踊公演 in 小玉川

■日時 7月23日(土)

午後2時開場、午後2時30分開演

■会場 旧小玉川小中学校グラウンド(雨天時は体育館)

■入場料 無料

■問合せ先 民宿奥川入(64-2263)へ

今月の町長と語る日は7月29日(金)です。お気軽においでください。
皆さんの声をお寄せください。

町長室専用メール shiroimori@town.oguni.yamagata.jp

町長室専用FAX 0238 (62) 2611

8月の子育てカレンダー

■問合先 健康福祉課または子育て支援センターへ

- ◆対象となるかた
 - あそびの広場、なかよし広場
入園前のお子さんと保護者
 - タッチケア教室
歩行前のお子さんと保護者
 - 4カ月児健診
平成23年4月生まれ
 - 1歳児健診
平成22年8月生まれ
 - 2歳児健診
平成20年12月、平成21年1月、平成21年2月生まれ
 - こども愛ランド
概ね2歳からのお子さんとお父さん、おじいちゃん
- ※今回は「パパとジイジイと遊ぼう」として行います。

会場・集合場所

- ◆健康管理センター
- ◇おぐに保育園

日	月	火	水	木	金	土
31	1 ◆タッチケア教室 10:00~11:30	2 ◆あそびの広場 10:00~11:30	3	4 ◇なかよし広場 10:00~11:30	5	6 ◆こども愛ランド 「岩魚つかみ」 9:00~13:30
7	8	9 ◆あそびの広場 子育て講座「親子交通安全教室」 10:00~11:30	10	11 ◇なかよし広場 10:00~11:30	12	13
14	15	16	17	18 ◇なかよし広場 10:00~11:30	19	20
21	22	23 ◆あそびの広場 10:00~11:30	24 ◆2歳児健診 受付 13:00~13:15	25 ◇なかよし広場 10:00~11:30	26 ◆4カ月児健診 受付 13:10~13:20 ◆1歳児健診 受付 13:00~13:10	27
28	29	30 ◆あそびの広場 10:00~11:30	31	1	2	3

求人情報

右の表は、6月24日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町を主な就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますのでご了承ください。
求人情報の詳細については、ハローワーク長井(Tel84-8609)へお問い合わせください。

今月の納税 2011.7

7月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 7月26日(火) 水道料
- 8月1日(月) 固定資産税(2期)、国民健康保険税(1期)、後期高齢者保険料(1期)、介護保険料、下水道料・簡易下水道料、住宅使用料、保育料等

■問合先 町民税務課税政管理室へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
大和建設運輸(株)	重機運転手	2人	8:00~17:00
日本重化学工業(株)小国事業所	機能金属材料の製造及び附帯する業務	5人	8:15~17:15 8:15~20:15 20:15~8:15
ハイコー(株)	電気工事(見習い可)	2人	8:00~17:00
アクサ生命保険(株)長井営業所	商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ(正社員)	3人	9:15~17:00
医療法人社団緑愛会 満天の家	看護師・准看護師	1人	8:30~17:30
合資会社山佐 佐藤農機店	営業・販売・整備工	1人	8:30~17:30
(株)横川建設	土木施工管理技士(急募)、重車輛オペレーター	4人	8:00~17:00
伊藤建築 伊藤一郎	建築大工(見習い可)	1人	8:00~18:00
小国町介護老人保健施設 温身の郷	(臨)介護員	1人	8:30~17:00、12:15~20:45、16:00~9:00、交代制あり、又は6:30~15:00、7:30~16:00、早番2体制
社会福祉法人 小国福祉会	看護師(常勤正規職員)	1人	8:30~17:30 10:30~19:30 9:15~18:15
KATEKYO学院 長井校	完全個別指導 家庭教師	10人	17:00~21:00、18:00~22:00、19:00~21:00、又は10:00~22:00の間の2時間
(株)コメリ 新潟地区本部	販売員(コメリハードアンドグリーン小国店)アレルバイト	4人	17:00~20:00又は9:00~13:00の間の2時間以上

● 食育講演会のご案内 ●

- 日 時 7月6日(水) 14:20～15:50
- 場 所 小国小学校 体育館
- 演 題 「食で育てる心と身体」
- 講 師 東北パイオニア レッドウイングス
栄養トレーナー 山口喜代美氏
- その他 どなたでも参加可能です。
- 問合せ 小国町教育委員会事務局へ

あなたの「ふるさと寄附金」が被災地支援に

被災地の自治体への寄付金や、自治体を通じての被災者への義援金、日本赤十字社や中央共同募金会等への義援金は「ふるさと寄附金」として住民税・所得税の控除が受けられます。詳しくは総務省東日本大震災関連情報ホームページをご覧ください。(http://soumu.go.jp)

- 問合せ 町民税務課へ

飯豊山周辺森林生態系保護地域を訪ねる ～倉手山からの飯豊連峰と温泉浴～

- 期 日 7月23日(土)
- 内 容 倉手山トレッキング、自然観察
梅花皮荘温泉浴 ※定員20人
- 参加費 3,000円
- 申込期限 7月15日(金)
- 申込・問合せ
置賜森林管理署業務課森林ふれあい係(62-2246)へ

各種相談

年金相談

- 日 時 7月20日(水)
10:30～14:30
- 場 所 役場町民相談室
- 対応者 日本年金機構
米沢年金事務所職員
- 問合せ
町民税務課住民窓口担当へ

人権相談

- 日 時 7月20日(水)
10:00～12:00
- 場 所 総合センター
- 対応者 町人権擁護委員
- 問合せ
町民税務課住民窓口担当へ

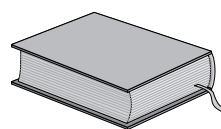
消費者相談会

相続、契約トラブルなど、お気軽にご相談ください。

- 日 時 7月30日(土)
10:00～15:00
- 場 所 役場雇用相談室
- 対応者 司法書士 舟山健蔵氏
- 申込み 事前に申込みが必要です。
- 申込・問合せ
町民税務課町民生活担当へ

総合センター図書室から

■休館日……毎週月曜・祝日



●新着図書

- ◆叫びと祈り 梓崎 優
- ◆月と蟹 道尾 秀介
- ◆きことわ 朝吹真理子
- ◆ペンギン・ハイウェイ 森見登美彦
- ◆ジョン・マン 山本 一力

- ◆月の街 山の街 イ・チオルファン
- ◆マタギの行方 藤田 栄一
- ◆さびしいときは心のかげです 原田 大助
- ◆原発事故はなぜくりかえすのか 高木仁三郎
- ◆東京時代MAP 松岡 満



- 小国町役場 02-2111代 02-5464
- 行政管理室 02-2112 ●政策企画室 02-2264 ●住民窓口担当・町民生活担当 02-2260
- 国保医療担当 02-2261 ●税政管理室 02-2403 ●会計室 02-2406
- 農林振興室 02-2408 ●商工観光室 02-2416 ●建設管理室・水道管理室 02-2431
- 建設技術室 02-2432 ●議会事務局 02-2448

温身平三ニツアー のご案内 Nukumidaira Mini Tour

森が持つさまざまなはたらきを見て、聞いて、体験して、森林の大切さや素晴らしさを感じながら、森から元気をもらうのが「森林セラピー」です。

森林セラピーの案内人「森林セラピーアテンダント」のガイドで、1時間30分ほどの森林散策を楽しんでみませんか？

■開催日 7月～8月の土日祝日
※8月13日、14日は除く

■時 間
午前の部 10:00～11:30(9:30～受付)
午後の部 13:30～15:00(13:00～受付)

■集合場所 飯豊山荘前

■料 金 500円(小学生以下無料)

■申込・問合先 産業振興課商工観光室へ

水道水の節水に ご協力ください



小国町の上水道・簡易水道の水源は伏流水や湧き水です。

近年、温暖化や異常気象などの影響により、厳冬期や夏期に水源水の渇水傾向がみられます。

町の上水道や簡易水道をご利用の皆さまには、常にも増した節水を心がけてくださるようお願いいたします。

《節水のポイント》

- 1 水を出しっぱなしにせず、こまめに止めて使う。
- 2 食器を洗うときは容器にためて使う。
- 3 水を出しすぎない。
- 4 風呂の残り湯は、掃除や洗濯などに利用する。

節水に努めることは環境保全にもつながります。日ごろから節水を心がけ、限りある水資源を大切に使いましょう。

■問合先 地域整備課水道管理室へ

日本脳炎予防接種に関するお知らせ

平成17年5月から平成21年度まで積極的な勧奨を差し控えていた「日本脳炎の予防接種」について、予防接種法の改正により、以下のとおり対応することとなりました。

【予防接種対象者について】

日本脳炎の定期的予防接種の接種時期が緩和され、次に該当するかたは満20歳に達するまでの間、第1期、第2期の未接種分を接種することができるようになりました。

■対象者 平成7年6月1日から平成18年4月1日生まれのかた

積極的な勧奨は、順次開始していくこととなっており、本年度は上記対象者のうち平成13年4月2日から平成15年4月1日生まれのかたへ個別の案内をしています。個別の案内の対象となっていないかたで、接種を希望する場合は、事前に健康福祉課健康増進担当までご連絡ください。

○日本脳炎の予防接種に関する情報は、
厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou20/annai.html>
をご覧ください。

■問合先 健康福祉課へ

シリーズ 15

伝えよう! 広めよう!

おぐにの食文化

Oguni Slow Food Recipes



うるいのくじら汁

材 料	ウルイ……………5～6株	塩クジラ……………約400g
	ジャガイモ…4個	みそ……………約70g
	水……………1200cc	うま味調味料……少々

- 作り方**
- ① ジャガイモを一口大に切り、薄く切った塩クジラを水から煮る。
 - ② ジャガイモが柔らかくなったなら、みそとウルイを入れて2～3分煮る。
 - ③ うま味調味料で味をととのえる。

伝承者 桑嶋 豊子さん (沼沢)

昔から、沼沢地域では広い田や畑が少ないので、山菜は貴重な食材として、さまざまな調理法で食べられてきました。塩クジラは保存食として重宝されてきました。ウルイはさまざまな食べ方がありますが、塩クジラとは相性がよく、この時期ならではの料理として受け継がれてきたものです。



編集後記

国際森林年を記念し、開催したブナの森研修会。本町のブナの森では、小さな虫から、大きな獣まで、さまざまな動植物がかかわり合いながら、命をつないできたということを改めて認識しました。

さて、一層の節電に取り組まなければならないこの夏ですが、巨木のアーチに、清らかな川のせせらぎ……小国の森のなかで涼をとるのも、いいかもしれませんね。

(加藤)

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

岩井 沢 齋 藤 芹 菜 (正 成
沙 記)

結婚おめでとうございます。

(東 京 都 海 谷 雄 司
北 井 上 さやか
新 潟 県 平 田 圭 太
新 原 佐 藤 かおり)

おくやみ申し上げます。

田 沢 頭	佐 藤 京 子	(66)
岩 井 沢	伊 藤 うめの	(86)
越 中 里	舟 山 武 雄	(90)
舟 渡	木 村 喜 重	(78)
岩 井 沢	木 村 啓 次	(83)
若 山	舟 山 き い	(92)
小 股	安 部 ナツエ	(88)
叶 水	渡 部 和 夫	(83)
杉 沢	木 村 ち よ	(85)
足 水 中 里	佐 藤 イ キ	(86)

人口のうごき

人 口 男 … 4,362人 (± 0)
女 … 4,601人 (-10)
計 … 8,963人 (-10)
世帯数 3,250世帯 (+ 5)

平成 23 年 5 月 31 日現在

～お詫びと訂正～

6月号6ページ、選挙管理委員補充員の氏名の記載に誤りがありました。
(誤)佐藤友里子さん → (正)佐藤友理子さん
お詫びして訂正いたします。